

夕張市議会だより

2010年5月1日
第9号
議会運営委員会

第1回定例会の 主な議会議決事項

(会期3月12～26日)

議案 30件
報告 4件
意見書 2件

議案
◎平成22年度夕張市一般会計予算、国民健康保険事業会計予算など9議案。及び21年度一般会計などの補正予算、6議案

◎夕張市職員の勤務時間及び休暇、給与、旅費、退職手当などの条例の一部改正
◎夕張市奨学資金貸付条例の一部改正

報告
◎平成22年度夕張市土地開発公社事業計画書
◎例月現金出納検査の結果

意見書
第1号 道立衛生学院の存続を求める意見書
第2号 有床診療所の位置付けと存続に向けた対策を求める意見書

※過去20年間にわたって極端に抑制されてきた低い入院基本料が、有床診療所の経営を困難にしている。さらに医療制度改革などで全国の有床診療所は削減されてきている。夕張市の有床診療所も存続の危

機に立たされているため、以下の2点について強く要望する。
一、医療資源として有床診療所の位置付けを明確にし、その活用を図る総合的施策を確立する。二、有床診療所の閉鎖、縮小を招かないよう、入院基本料の全体的な引き上げ等、診療報酬の見直しを検討すること。

◎行政常任委員会に審査を付託された議案を審査した結果について。(経過は後日発行する議会報で報告します)
※23日、24日の2日間開催された。審査は冒頭、大綱的な質疑を行った後、一般会計の歳出から款毎に順次各会計の審査を行った結果、議案第1号ないし議案第9号、議案第19号ないし第24号の15議案については全会一致をもって、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決定した。

3月定例会 一般質問

(質問順)

高橋一太議員質問

○地域再生について
○地域振興と経済活性化について等全5件

○市政執行方針について

(1) 行政執行体制と機構について。
◎答弁
財政再生計画策定にあたって大きな懸案事項であった行政執行体制の確保については、全国最小最低の水準を基本としながらも地域の特性や今後の再生に向けての事業展開に取り組んでいくためにも、必要な職員確保等、国・道に対し本市の窮状を訴えていく必要がある。

(2) 総仕上げの一年、市長としての具体的政策、考え方等について。
◎答弁
財政再生計画を基本としながら、本年度は次の項目を重点に取り組んで参りたい。
一、財政再生計画の更なる短縮に向けた取り組み。
一、住宅再編を含めた地域再生に向けた取り組み。

一、都市機能集約と効率化を重視するための市立診療所の改築移転に向けた取り組み。
その他、再生計画に反映した事

務事業を着実に実行していくことが、本年度の大きな目標。

○安全・安心のまちづくりについて

(1) 安全・安心の住みよいまちづくりの根幹である今後の地域医療体制全般について。

◎答弁
地域医療ビジョン、介護保険事業計画を基本に、市として関係機関との連携を図りつつ、初期救急体制、包括的なケア体制の整備や適切な初期医療と病床の確保等、市民に対し良質で適切な医療体制を整備し、地域医療を確保するための施策を総合的に推進して参りたい。

伝里雅之議員質問

○住宅政策について

(1) 再生計画における住宅再編事業は、来年度に取り組む再編事業の内容、時間的スケジュールは、また、都市計画マスタープランとの関わりは。
(2) 公営住宅政策の方向性は。
(3) 民間賃貸住宅の誘致は、どのような政策で促進していくのか。

◎質問の趣旨 住宅再編事業の進め方をはつきりすることによって、都市機能を持ったマチやコミュニティづくりの未来像を明らかにし、市民に新しいまちづくりの意義と、市内商工業者などの民間業者の参入意欲を高

夕張市議会では議会の動きを多くの市民にお知らせするために、「議会だより」の他に「市議会報」を発行しています。市議会報は各新聞販売店さんのご協力により折込みしていただいています。また市役所や支所、ふれあいサロンにも配布していますので、お読みください。

ご意見・ご感想を
お寄せください
夕張市議会事務局
本町4丁目
電話 52-3172

1面から

め、こどもからお年寄りまで暮らしやすいまちづくり計画を指すように質問しました。

再生に向け重要な事業と位置付けている。南清水沢地区から手がけ、コンパクトなまちづくりを進めていく。年度当初は調査、設計業務を予定。民間賃貸住宅事業者にも浄化槽設置補助を拡充する他、積極的に市有地の格安提供を実施する。定住につながる制度改正、支援策を国に要望していく。

正木邦明議員質問

○市内交通体系について

(1) これからの夕張の交通体系について。

自ら移動手段を持たない高齢者や子どもたちのため、日常的足として欠かせない公共交通機関を維持することが大変重要と考える。敬老バスにおいては改正し高齢者がバスを利用しやすくした。これからも公共交通の維持が図られる様進めていく。

○活力あるまちづくりについて

(1) 農業、商工業などの地域産業振興について。

市内で働く人が安心して住めるよう住宅ニーズの取りまとめ

作業を行い、住宅再編、民間賃貸住宅誘致の重要なデータとしている。また、新規の設備投資を行うもので、制度の要件に合うものがあれば夕張市企業開発促進条例等の制度を充て設備投資の協力をしていきたい。国・道にも各種支援制度の情報提供などを求め、地場産業の振興に努めていきたい。

高間澄子議員質問

○夕張における新しい学校づくりについて

※質問の趣旨 夕張活性化のひとつとして安心教育の実現が再生へのキーワードと思う。教育に不安があれば住むことも難しくなる。将来を考えても小・中学校が人間形成に大事なときと考える。

自然、文化と関わり感性豊かに、時代に遅く生きる教育、幼、小、中、高の連携と相互交流を図り、「夕張教育」の継続性、一貫性の構築に取り組んでいく。

(2) 地域、関係団体との連携をどのようにしていくのか。

地域の人材活用、多様な形で地域と関わりながら、今まで積み上げられてきた教育実践の上

に新しい教育課程を作っていくことが重要。バス通学に関わり、地域住民が子どもを見守る仕組みづくりで安全・安心の体制づくりを進める。

島田達彦議員質問

○市民生活を支える基盤となる公共施設について

(1) 生活館等公共施設の管理、修繕計画は。

○公有財産の有効活用について

(1) 廃止施設の売却、貸付等活用に向けての考え方は。

※質問の趣旨 市の財政破たんにもない、各種施設の休止、小中学校の統合により23年度には小学校5校が閉鎖の予定である。今後の再利用について、市民の理解を得るためにも市内はもとより、全国に向けて情報を発信し、広く活用策やアイデア、意見など情報を収集することが必要。全国からの情報があれば課題整理も早く進むのではないかと考える。

■答弁

これら市有財産の活用は、今後のまちづくりを進めていく上でも大きな課題。施設によって規模、立地条件、土地の所有関係の問題があるが、今後、利用可能な物件について市の広報や

ホームページには施設の写真などを広く活用策や要望を募っていききたい。また地元地域での利用の要望があれば優先していきたいと考えている。

角田浩晃議員質問

○地域再生と経済活性化の取り組みについて

(1) 地場産業の振興について。(2) 国や道の産業振興支援制度等の有効活用について。(3) 今後も進める誘致活動について。

※質問の趣旨 財政再生計画を確実に実行するにあたり、人口減少の対策、本市の歳入増を考える時、地域経済の活性化に対する取り組みは大変重要な要素となるものと考えている。

■答弁

地場産業の振興については夕張の知名度、文化や自然を生かした取り組みが重要と考えており、各企業間の連携強化に行政として取り組んでいく。また、産業支援制度が本市の財政破たん以来、活用できていない状況があるが、国・道に制度の見直しまたは特例的に活用が可能になるよう働きかけていく。

特に学校の利活用は、学校としての特色を生かした利用に向けた取り組みや、福祉施設などに活用できないか関係企業に対し積極的にアプローチしていく。

加藤喜和議員質問

○住民自治基本条例について

(1) 自治体の憲法とされている住民自治基本条例とその必要性について、市長はどのように考えているか。

(2) この条例が本市の憲法となるとすれば、これまでのまちづくりの進め方の検証の上に立つて、財政再生計画を確実に進める「夕張だからこそ」の定義付けが必要ではないか。

(3) 条例の基本理念、盛り込むべき基本的な事項については。 ※質問の趣旨 私は、再生計画によりスタートするまちづくりについて、行政・議会・市民の役割を決める「住民自治基本条例」(私の選挙公約のひとつ)の必要性を、その重要な役割を担う行政(市長)に確認するため一点に絞って質問しました。

■答弁

まちづくりに当たっては、この条例もその方法論のひとつで、本市の実態に即した条例のあり方について、議会からの積極的な意見も頂き、行政・議会・市民がそれぞれの立場で今後検討していかなければならないと考える。